平成30年7月豪雨の被災により、ここ天応小学校に場所を移し、教育活動を 再開して、早いものでもうすぐ一年八ヶ月になります。

大変困難な状況の中,保護者の皆様,地域の皆様,そして呉市教育委員会等の 多くの方々のご支援により,こうして生徒と共に充実した学校生活が過ごせて いることを,ありがたく感じています。

本校は、天応小学校と共に、令和5年度に義務教育学校に移行することとなり、現在その準備を進めています。そのための新校舎建設については、設計事務所の選定が終了し、先日、設計事務所、呉市教育委員会、地域代表者、保護者、学校(教職員、生徒)及び東京大学復興デザイン研究体での「学校づくりワークショップ」を終えたところです。

天応地区の防災拠点として,また復興のシンボルとしての魅力的な校舎が建設されます。こうしたハード面のみならず,義務教育学校にふさわしい教育内容を,天応小学校との連携を更に密にして,構築していきたいと考えています。

豪雨災害後の夏の炎天下,天応地区が壊滅的な状況の中で,多くの生徒が,連 日ボランティア活動に従事しました。それは,「地域を愛し,地域を支える人材 を育成する」という私たちの目標とする姿でした。

天応地区は今,復興の最中にあります。そして復興の担い手は,私たちの目の前にいる子どもたちです。本校では,今後も地域の方々のご協力を得ながら,天応を教材とし,天応の歴史や文化・伝統,先人の生き様に学び,天応を知ることで,天応に貢献する人材を育成していきたいと考えています。

また天応小学校とともに、防災教育を教育活動の大きな柱の一つに据え、ふる さと天応が災害に負けずに、災害に強い協働的な町になるべく、地域に貢献し、 また彼らが将来、町づくりの一翼を担う人材となることを期して教育活動を展 開していきます。

今後とも,本校の教育にご支援とご協力を賜りますよう,よろしくお願いします。

令和2年4月 吳市立天応中学校 校長 高野 辰彦